



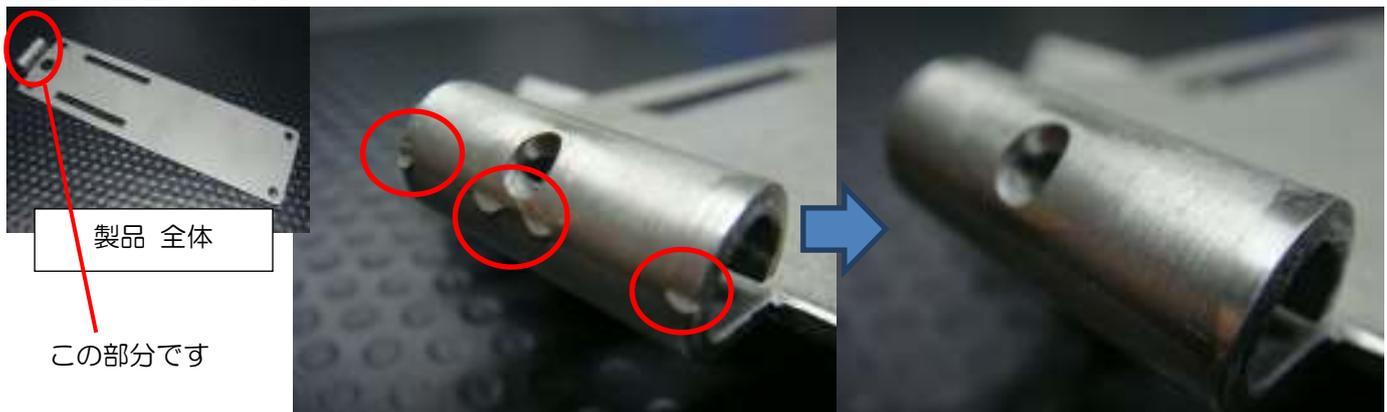
今月は **技術(金型・開発)チーム** の **K・K** を紹介します!!

《 **カール曲げ 成形性向上** 》

ガレージ用オーバースライダーに使われるローラーブラケットの加工金型の改善です。
カール曲げ(端を筒状に丸める)の際、製品と金型の間に摩擦や熱が発生し、製品～金型間にカジリが発生する問題が起きました。

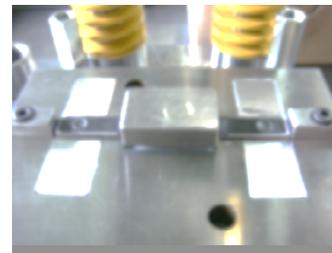
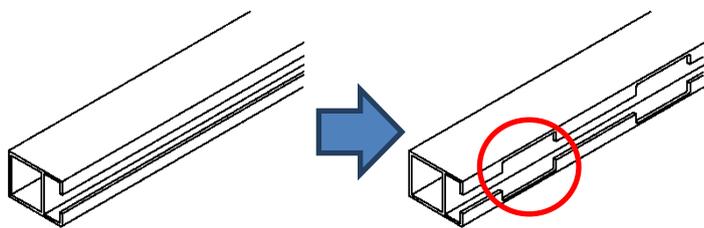
金型を研磨するなどの対策を取りましたが、根本的な解決には至らず、再発する状態・・・
そこで以前に別の製品の曲げ金型(PSN リンク 傷なし曲げ)で実績のあるコーティングを
今回の金型に施してみたところ、見事に解決!!

加工品の見た目も非常に綺麗に仕上がっており、突起がなくなることでユーザーへの安全性も高い部品を安定して生産できるようになりました。

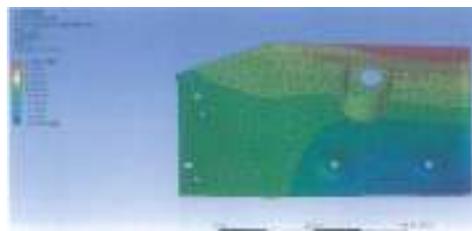
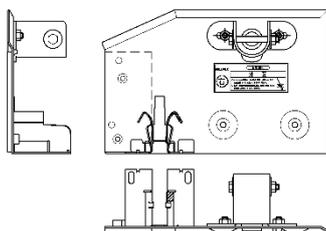


今回のような解決策を積み重ね、そして応用することで、様々な加工を実現できると考えています。
また新しい技術もどんどん取り入れることで、加工の可能性をどんどん広げられると思います。

例えば、この度、新規で受注した下図のようなアルミ型材の切り欠き加工金型ですが、
従来の金型の構造では加工の実現が難しかったため、新しい構造にてトライし、成功させました。



また以前にご紹介した 3D 設計ソフトを使っての解析も、更に活用してお客様への提案を実施しています。



製品開発部 宗和 寛司